



学校だより

令和5年1月10日
横浜市立豊田小学校
1月号

開く つなげる とともに

豊田小学校ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/toyoda/>

今年もよろしくお祈いします

今年辰（たつ）年。龍（たつ）と聞くと、以前こんな話をお聞きしたことを思い出します。

「屠龍技（とりょうのぎ）」という言葉についての話。

実はこの言葉、東京消防庁第6消防方面本部消防救助機動部隊（通称、ハイパーレスキュー）の本部の壁に、「部隊心得」として額縁に入れて飾ってあるそうです。

そこには、以下の説明書きも添えられています。

昔、中国の山奥に悪龍が住みつき、時折現れては村人に害を為した。一人の青年が、「誰かがこの龍を退治しなければならぬ」と考え、その龍を屠（ほふ）る技を身につけるべく一生をかけて「屠龍の技」を磨いた。龍は二度とその村に姿を現さないまま青年は一生を全うした。村人の中には無駄なことをしたと笑う者もいた。非（あら）ず、悪龍は屠龍の技を磨いていた者が住む村を恐れて避けていたのである。

龍の出現の有無にこだわらず、屠龍の技を磨く。

ただし現れたら一撃のもとにこれを屠る。

我々の目指すところである。

災害に備えて常に訓練を重ねる。

「何もないこと」と、「何もないようにしたこと」とは天と地ほどの差がある。これが、私たち消防及び6本部機動部隊の心得である。

言葉の由来は、中国古典の「莊子」に出てくる故事だそうです。広辞苑では「身につけても実際の役に立たない技術」と記されていますが、ハイパーレスキューでは、これをポジティブな意味に捉えなおしています。

この「屠龍技」という言葉のポジティブな捉えなおしは、頑張っている人すべてに当てはまるような気がします。お仕事上の様々なお立場にも当てはまるでしょうし、こどものうちにいろいろな勉強や運動に取り組むことにも当てはまるようにも思います。

将来何に役に立つかわからないけれど、今身に付けられることを一生懸命身に付けていくこと。辰年の1年間が豊田っ子にとっての素晴らしい1年になるよう応援していきたいと思ひます。今年もどうぞよろしくお祈いします。